

恒例行事「敬老会」今年も東菅小で健康長寿をお祝い！

昔町会で11月3日、文化の日に行われてきた恒例行事の「敬老会」がコロナ禍で中断していましたが、昨年から継続してまいりました。今年も東菅小アリーナで開催され、ご長寿をお祝いしました。昔町会会員で70歳以上の3千500名余の方に招待状をお渡しし、会場には3,000名を超える方がご来場くださいました。

第一部の式典には町会役員、関係団体、地元議員の方々が参加し、濃沼会長をはじめ多数の来賓の方々にご壇上より多量の来賓の方々に贈り物や花を数多く賜りました。

第二部は昨年に続き北浦に住の三井砂奈さんのコンサートとして、またナレーター、司会者等として活動、高齢者施設等でワグマンショーを届けたい活動も行う実力派の歌手。この日は人生いろいろ「雨酒場」「東京アキウギ」など昭和の懐かしいヒット曲やオリジナル曲20曲あまりを熱唱、ゲストの太極拳・塩沢和美さんの剣舞とコラボしたりで、聴衆の皆さんは口ずさんだり、手拍子したりと存分に楽しまれました。

た。協力の関係者の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。

(右から)挨拶の濃沼会長、祝辞の橋本・東菅小学校長、井口・市会議員、空・国会議員

三井さんの歌に合わせて剣舞の塩沢和美さん

八雲神社で大変楽しかったこと

7月20日の大変暑い日、八雲神社の例大祭が行われました。私は氏子会の庶務を担当しており、当日はご奉納金を頂く受付におりました。数年前までは昔町会というよりもやらせて頂いたこともあり、お顔を存じ上げている方も多くいる事も奏功し、ご無礼の多い対応に心掛けておりました。

午前中ですが、数回お会いさせて頂いた男性の方がお年を召したエレガントな女性と共に受付にお越しになりました。私は昔小学校の首藤校長先生と即座に分かりました。お話をうりますと女性は八雲神社にお参りをすべく、ご自宅を出られたそうですが、途中から方向が定まりました。ようお困りになっておられたようです。校長先生もお参り頂く予定でおられた事もあり、一緒にお願いいただいたという事です。女性もお元氣にお参りしていただき、私も清々しい気持ちになりました。

令和7年4月にご着任されたという事で、こんな心の優しい気配りのある方が普に来て頂きまして、大変嬉しく思います。微力ですが昔町会のモットーである「安全で明るく元気な町」を目指し、楽しみながら、余り先はないですが一翼を担える様、もう少し頑張ってくださいと思っています。

第53回大運動会、雨上がりグラウンドに歓声！
笑顔と元気パワーが全開する
 10月5日（日）、今年度は東菅小中学校庭にて第53回菅町会大運動会が開催されました。前日には小雨降る中、町会役員、理事、体育部の皆さんを中心に関係者が会場の設営、整備を行いました。当日の早朝まで雨が残りましたが、開会とともに雨はやみ、昼近くには青空が広がる秋晴れになり、各競技で熱戦が繰り広げられました。

足並み揃え、1、2、1、2の「百足競争」

朝8時30分、菅地区の小学校の校長先生はじめ、多くのご来賓が見守る中、開会式が行われ、濃沼会長の挨拶、多くのご来賓よりお言葉をいただき、全員の「ラジオ体操」で体をほぐしてから競技に入りました。

競技は「すず割」でスタートし、「玉入れ」と続いて小さい子どもたちの参加で会場が一気に盛り上がりしました。さらに地区対抗「ナメント」の勝ち負けの綱引き予選、自由参加の買い物競争、地区対抗の集団縄跳び、百足競争と競い合いました

午前最後は小学1〜6年生男女12名の混合リレーで追いつ追われつの大接戦で、応援合戦も盛り上がりしました。昼の時間には剣道の剣桜会による風船割り「源平合戦」、消防団の管班による「消防操法演技」、女性部「フラダンス教室」の皆さんによる演技がそれぞれ披露されました。

午後には自由参加の徒競走、綱引きの決勝および3位決定戦、昨年から新競技「大玉転がし」、自由参加の子ども対抗混合リレー第2部、最後は地区対抗戦の10・20・30代・30代以上の男女混合リレーで

バランス感覚が養われる「大玉転がし」

締めくくりました。今年の運動会は子どもへの参加競技の数を増やすなど、対策と工夫がされ、参加者の歓声や笑顔で元気パワーが全開の大会でした。地区優勝は昨年と同じ仙谷チーム、2位が芝間ま住チーム、3位が星が丘チーム、以下4位が城下5位が天領馬場、7位が野戸呂、8位が稲田堤、北浦でした。

剣桜会による風船割り「源平合戦」

女性部「フラダンス教室」の皆さん

チームワークで力くらべ「綱引き」

「男女混合リレー」は一番の盛り上がり

菅消防団による「消防操法演技」

最初の競技は「すず割」

団結力が勝負の決めて「玉入れ」

全員の息が一つに「集団縄跳び」

「買い物競争」が新たに加わりました

自然の中で遊ぶ、第3回「子どもフェスティバル」
緑陰が笑顔と歓声に包まれる！

夏休み恒例の「子どもフェスティバル」が7月27日(日)に稲田公園で開催されました。暑さ厳しい日でしたが、青空の下約800人の子ども達と保護者が家族連れで訪れ夏の思い出を作りました。主催は菅町会青少年部で、多摩区ソーシャルデザインセンター(SDC)の学生さんやプロレス・ヒートアップ、菅・南菅こども文化センターにご協力いただきました。開会式に続き「シャボン玉オヤジ」によるパフォーマン스가新たに加わり、披露されたシャボン玉ショーに魅了された大勢の子どもが足を入れて、「冷たい」「気持ちいい」と歓声を上げ、流れていくスーパールを夢中ですくいました。